JBCF主催 JPT登録チーム EsperanceStage/WAVEONE山口

2012年下半期 選手・活動レポート

Espérance Stage WAYE ONE

作成者

地域密着型クラブチーム

EsperanceStage

選手氏名 伊藤 翼(いとう つばさ)

下半期成績

JBCF Road Series 2012 TT チャンピオンシップ 81 位 輪島ロードレース DNF JPT 個人ランキング 88 位

下半期戦評

前半戦は不本意な結果に終わったので、後半戦は乗り込みをして上位完走を目指した。しかしレースに向けたコンディショニングが上手くいかずに後半戦も棒に振る結果に終わった。チームで一番の若手にも関わらず、今シーズンはほとんどチームポイントに貢献できなかったので、来年は個人ランキング、チームランキングとも今年以上の結果を目指して走りたい。

2013 年度目標

全日本選手権上位完走 2014 年 JPT シード権獲得

選手氏名 井上 無我(いのうえ むが)

下半期成績

第46回 JBCF 東日本ロードクラシック 群馬大会 DNF

第46回 JBCF 西日本ロードクラシック 広島大会 DNF

第4回 JBCF みやだロードレース DNF

第2回 JBCF タイムトライアルチャンピオンシップ 60位

第46回 JBCF 経済産業大臣旗 ロードチャンピオンシップ DNF

第2回 JBCF 知多半島・美浜クリテリウム 29位

第5回 JBCF 輪島ロードレース DNF

下半期戦評

シーズンの目標としていた 20 位以内完走を達成することができなかった 実力不足であり、まだまだレベルアップしなければならないと思う

2013年目標

20 位以内完走

選手氏名 向山浩司(むこうやま こうじ)

下半期成績

- •8/18(土) JBCF 2012 湾岸クリテリウム : Jプロツアー/予選落ち
- このレースはフジテレビのお台場冒険王のサブイベントして開催され、ギャラリーも多いので、自分の中では最重要レースとして位置付けて夏の間ずっと準備をしてきました。しかし、予選最終周回の折り返し地点でコーナー外側から自転車をぶつけられてリア変速機を破損。そのままポジションを下げてゴールスプリントに参加できず、無念の予選敗退となりました。ポジション取りが悪かったことを反省しています。
- ・8/19(日) 第4回 JBCF みやだクリテリウム : Jプロツアー/予選落ち 前日の失敗を繰り返さぬよう、予選レースから常に前々で展開したが、最終周回のスピー ドが上がり、1 列棒状になっているところで 2 台前の選手が落車。自分の落車を避けるの が精一杯で、停車してポジションを下げ、そのまま予選敗退。トラブルに巻き込まれたとは いえ、2 日連続で同じようなミスを繰り返すのは明らかに自分の責任。来シーズンはクリテ リウムの戦い方を根本的に変えなければいけないと痛感しました。
- •9/2(日) 第2回 JBCF タイムトライアルチャンピオンシップ : Jプロツアー/42 位

機材が重要なので、BOMA 製の専用バイクを借りて出走。42 位は平凡な成績だが、元々苦手としていたタイムトライアルが改善されてきているのを実感した。不調なシーズンを過ごす中では小さな明るいニュースでした。

- 9/29(土) SUBARU XV トレイルジャム in FUJITEN : スポーツクラス/1 位 お遊びのレースですが、通っている自転車店に誘われて、シーズン前のシクロクロスのトレーニングと位置付けて参加。あまりレベルの高くないレースですが 1 位を取り、楽しみながら良いトレーニングが出来ました。
- ・9/30(日) GP ミストラル第2戦 : カテゴリー1/10 位 前日と打って変わって、MTB、シクロクロスの世界選手権経験者が6名出走するハイレベルなレース。そしてシーズン幕開けの重要なレース。しかし、前日からの強行スケジュールで疲労が溜まっていて、なかなかペースが上げられず、10位に終わる。本格的なシーズン到来に先立ち、色々課題を感じるレースでした。
- •10/14(日) 第2回 JBCF 知多半島・美浜クリテリウム: Jプロツアー/48 位 自分にとっての今シーズンの最終戦。8月のクリテリウムの惨敗からトレーニング内容を 改善しており、僅かにその成果が出たようにも感じました。とはいえ、ラスト 2 周の登り で集団から千切れてしまい、スプリントに参加できず。グルペット内のスプリントでは頭を 先頭を取る力があっただけに、集団からこぼれたことが悔やまれます。まさに今シーズンを 象徴するような最終戦でした。
- 10/21(日) 信州シクロクロス第 1 戦 富士山 : カテゴリー1/10 位 12 月に行われる全日本選手権と同じコース。そして自分はこのコースが得意。全日本選

手権に向けて良い手応えを得たいレースです。しかし、スタート直後、なかなかペダルがはまらず、停止して確認すると靴とクリートの間に大きな石が挟まっており、急いで取り除いて再スタートするも、あっという間にトップから30秒差を付けられてしまう。そこからは1台ずつ裁いてポジションアップを繰り返し、最終的には小坂光選手の背後まで迫り、10位でフィニッシュ。スタートのミスが悔やまれるが、池本選手やアンカーMTBチームの平野選手を後ろから追い上げ・追い越し、終始集中した良い走りが出来たので、この感触を忘れないように全日本選手権に向けてトレーニングしていきたいと思います。

総評

今年はクリテリウムで成績を残すことを第一にトレーニングし、レースを戦ってきました。 しかし、振替って見ると、その偏ったトレーニングが競技力を低下させ、結果的に狙って いたクリテリウムですら成績が残せない、悪いところばかりのシーズンになってしまいまし た。

「スプリントを鍛えているのに、そもそもスプリントに参加できない」そんな状況が続く中、8月に最重要視していたクリテリウムで立て続けに惨敗し、地足の強化が必要であることを痛感し、トレーニング内容の改善を図ってきました。今まで以上にきついトレーニングを2ヶ月間こなしてきた中で、僅かながら改善の兆しも見えてきました。ベースの能力改善はまだまだ時間がかかる作業だと思いますが、冬から春にかけてベースアップを図りたいと思います。

2013年の目標

来シーズンについては引き続き、Jプロツアーのクリテリウムでの入賞を目指し、活動していきます。今シーズン痛感した自分の弱点を徹底的に改善し、Jプロツアーの表彰台を目指したいと思います。来年の春までは例年同様、シクロクロスを中心に活動し、心肺機能などの強化を図っていきますが、昨年から一部プログラムを変更し、冬や春にかけても幾つかロードレースを走って、Jプロツアー開幕と同時にトップシェイプで走れるように鍛えていきます。今年のような不甲斐ないシーズンは繰り返したくないので、来シーズンに向けて、今から準備をしていきます。

選手氏名 江下健太郎(えした けんたろう)

2012年 下半期成績

8月19日「みやだロード」: 予選落ち

9月2日「TT チャンピオンシップ」: 92位

2012年 下半期戦評

下半期は「みやだロード」と「TT チャンピオンシップ」の2戦にのみの出場となりました。今年も MTB ジャパンシリーズ戦をメインとしていることで、実業団と日程が重なったり前後してしまい、ほとんど走れず仕舞いでとても残念です。

レース結果は、みやだロード予選落ち、TT92位と全くふるわず、サポートいただいているスポンサーの方々、チームスタッフには大変申し訳なく思っています。原因としては7月のMTBジャパンシリーズ(7位)後の身体のダメージが大きく、腰の故障を負ってしまって治療とリハビリでレーストレーニングを行えなかったこと、また今年よりオープンさせた自身のバイクショップの仕事疲れだと分析します。

故障は入念な身体のケアが足りなかったと反省し、仕事も言い訳には出来ないのでしっかり両立できるよう頑張ります。

2013年 来期目標

今期の JPT 個人ランキングが151位となり、来期はE1へ降格となるでしょう。今期じっくり取り組めなかったオフトレと乗り込みに重点をおいてE1にて良い走りがしたいです。私はMTBメインの選手ではありますが、ロードもしっかり走れる脚を取り戻してまだまだチャレンジしていきます。

どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

選手氏名 山本 敬(やまもと たかし)

下半期成績

タイムトライアルチャンピオンシップ 26 位 輪島ロード DNF

下半期戦評

タイムトライアルチャンピオンシップ

15.9km と長くはないものの、スプリンターでは対応できない距離だったので今の自分としては上位に食い込むことが出来た。本当は 20 位以内を狙っていたのですが、残念です。

・輪島ロード

厳しい登りと、長い平坦・下りを組み合わせた好きなコースなのですが、コンディションの調整不足と悪天候のため最初の登りで遅れてしまい DNF となりました。悪天候で精神的な弱さが出てしまうのは、今後の課題です。

今年は出場機会が少いなかで、今年最後のレースに出場できたことは、来年に向けてオフシーズンのモチベーション維持のためにも良かったと思っています。

2013年目標

タイムトライアルでの上位入賞、普通のロードレースでも完走するレースを増やしたい。 そのためにも、オフシーズンに一から体を作り直したい。

選手氏名 清水 英樹(しみず ひでき)

下半期成績

第2回 JBCF タイムトライアルチャンピオンシップ 66位

第46回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ DNF

第5回 JBCF 輪島ロードレース DNF

下半期戦評

上半期のダメージが大きく、練習も思うように出来ず、後半戦は全くチームに貢献できなかった。

2013年の目標、抱負など

ヒルクライム等、山岳系のレースで上位入賞という結果を出したい。また、山岳系以外の レースでも20位以内の完走を目標に頑張ります。実業団レース以外では優勝を目指します。

選手氏名 西川 昌宏(にしかわ まさひろ)

下半期成績

フランス遠征 山岳賞 1 回、カテゴリー別一位 1 回全日本実業団ロード DNF 美浜クリテリウム 38 位 輪島ロード 33 位

下半期戦評

上半期に引き続きフランス遠征を行った。(7/3~9/17) カテゴリー3 の選手として、カテゴリー1~3 のレースを走り多くの経験を積んだ。帰国してからは実業団レースで活動。全日本実業団では落車に巻き込まれたこともあり DNF。美浜と輪島では手堅く完走した。

2013年目標

レイティング AA 以上のレースでの 20 位以内完走

選手氏名 藤田 信一(ふじた しんいち)

下半期成績

湾岸クリテリウム DNS

宮田クリテリウム DNS

全日本ロード広島 DNS

タイムトライアルTT DNS

いわきクリテリウム DNS

輪島ロード DNS

下半期戦評

7月に、自分の不注意により、肩の筋肉を、傷着けてしまいました、どうしても衝撃を、受けるとかなりの痛みが、あるため後半戦は、リタイアとなりました、仕事の方も上手くこなせず練習とリハビリも出来ずに、います。

来期に向けて…

このところの寒さで、肩も不調ですが、少しづつ再開してシーズンを、迎えたいと思います。

「個人ランキング 96位」

目標としていた50位以内には、届かず終ってしまいました。来期に、向けてまずは、シーズン全体の流れを、レース単位に、区切りさらに、一週間のスケジュールを、計画的に、こなせるように、したいと思います。

選手氏名 奈良 浩(なら ひろし)

下半期成績

08/18 湾岸クリテリウム 予選敗退

08/19 みやだロードレース予選敗退

09/02 TT チャンピオンシップ 47 位(103 名出走)

O9/22-23 経産旗ロード DNF

09/29-30 いわきクリテリウム 予選敗退・敗者復活戦 8 位 (29 名出走)・決勝 DNF

10/14 美浜クリテリウム 17位(110名出走)

下半期戦評

湾岸クリテリウム・みやだロードレースのいずれかは完走、あるいは完走以上を目指しましたが、いずれも DNF で終わってしまいました。ここは調子の底だったように感じます。 TT チャンピオンシップのあたりから調子が戻ってくるのを感じ、経産旗ロードは完走以上を狙いましたが、一周目の落車に巻き込まれて DNF。いわきクリテは決勝 DNF に終わりましたが、今まで苦手としていたコースで予選・敗者復活戦共にまずまずの内容のレースが出来たことに個人的には手応えを感じました。個人的な最終戦である美浜クリテリウムは高ポイント圏内の 17 位で終えることが出来、来期につながるものだったと考えます。

2012年の目標として掲げた JPT レース入賞には届きませんでしたが、年齢による衰えはあまり感じることなく、来期につながるものだったと考えています。全体的にはコース難易度の低いコースではそれなりの走りができるのですが、難易度の高いテクニカルなコースでは後ろ後ろに回ってしまう傾向があります。また、登りのキツいコースでも好成績が出せていません。

以上をよく考えて2013シーズンに向けて準備を行なって行きたいと考えています。

2013 年目標

- いずれかのレースで入賞する
- ・経産旗ロードで完走する 2011/3/11 第 1 回 JBCF しもふさクリテリウム 28 位 (出走総数 96 名 決勝完走 49 名)

選手氏名 福原 大(ふくはら だい)

レース戦績

6/10 JBCF 栂池高原ヒルクライム 52 位

6/17 JBCF 富士山ヒルクライム 64 位

6/24 JBCF 東日本ロードクラシック 群馬大会 DNF

7/15 JBCF 石川サイクルロードレース DNF

8/18 JBCF 湾岸クリテリウム DNF

9/2 JBCF タイムトライアルチャンピオンシップ 77位

9/22 JBCF 経済産業大臣旗 ロードチャンピオンシップ DNF

10/14 JBCF 知多半島・美浜クリテリウム DNF

総評

下半期はレース後半で力尽きてしまう事が多く、なかなか思った通りの走りが出来なかった。毎年の課題となっている6月~9月の仕事の繁忙期で練習量が激減し、レースも出ることはなかったけれど、今年は気持ちは切れずにレースに出続けることができた。

来年はこの繁忙期に少しでも練習量を増やせるように努力したい。そして、調子がいい春 先のレースでは上位に食い込みたいと思います。